



麦わら帽をかぶり、タツなどの魚を運ぶ漁師

日本新聞博物館 企画写真展

# よみがえる 沖縄 1935



2018

## 3.31<sup>土</sup> - 7.1<sup>日</sup>

ニュースパーク(日本新聞博物館) 2階 企画展示室

140 ともに考え、ともにつくる  
**朝日新聞**  
朝日新聞創刊140周年記念事業

- 主催 日本新聞博物館 朝日新聞社 沖縄タイムス社
- 後援 神奈川県教育委員会 横浜市教育委員会 川崎市教育委員会
- 協力 東京大学大学院情報学環・渡邊英徳研究室 フレームマン

**N** ニュースパーク  
日本新聞博物館  
<http://newspark.jp/newspark/>

太平洋戦争末期、過酷な戦火にさらされた沖縄。その10年前、沖縄には人々の平和な暮らしがありました。にぎわう那覇の市場、のどかな軌道馬車、糸満の漁師たち——。朝日新聞記者が1935年に撮影し、約80年を経て大阪本社で見つかった277コマのネガには、貴重な戦前の沖縄の営みが写し取られていました。人工知能 (AI) 技術と住民の記憶によりカラー化した写真を含む厳選した約100点の写真と、朝日新聞・沖縄タイムスの共同取材により「1935年の沖縄」がよみがえります。



沖縄と書かれた印画紙の小箱に丸まったネガや撮影状況を記したメモ

**開館時間：**午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

※初日の3月31日（土）のみ正午～午後5時

**休館日：**月曜日（祝日・振替休日の場合は次の平日）

**入館料（税込）：**一般＝400円 大学生＝300円

高校生＝200円 中学生以下＝無料



糸満売りとりみられる少年



パーキ（竹かご）を二段重ねにして頭に載せた女性たち



那覇ー糸満間の約9キロを走った「軌道馬車」



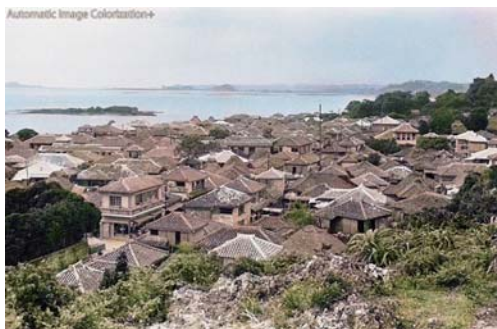
人力車



那覇市内にあった雑貨店の様子



東京大学大学院情報学環・渡邊英徳研究室（3月まで首都大学東京）によってカラー化された那覇の市場「那覇ウフマチ（大市）」（左）と糸満中心部（右）



東京大学大学院情報学環・渡邊英徳研究室（3月まで首都大学東京）によってカラー化された那覇の市場「那覇ウフマチ（大市）」（左）と糸満中心部（右）

※カラー化にあたっては、早稲田大学・石川博教授らの研究グループが開発した人工知能 (AI) を使った自動色づけ技術などが活用されました

## 期間中の催し ▶▶▶

**4.15（日）13：30～**

<ギャラリートーク>

**よみがえる沖縄1935 ネガ発見秘話と記者たちの思い**

朝日新聞大阪本社フォトアーカイブ：清水隆

朝日新聞西部本社報道センター：吉田拓史

沖縄タイムス社編集局社会部南部報道部：堀川幸太郎

コーディネーター：加藤久子（法政大学沖縄文化研究所国内研究員）

**5.26（土）14：00～**

<ワークショップ>

**人工知能 (AI) を使った「記憶の解凍」**

最新のAI技術で白黒写真を「カラー化」する体験会。白黒写真に凍りついた記憶を“解凍”し、当時に思いを馳せ、語り合いませんか？

講師：渡邊英徳（東京大学大学院情報学環教授）

**6.23（土）14：00～**

※いずれも事前の申し込みが必要です。詳しくはニュースパークのホームページをご覧ください。



### (アクセス)

- ・みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口（情文センター口）直結
- ・JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
- ・横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」徒歩1分
- ・観光スポット周遊バス・あいかいづつ「日本大通り」下車正面
- ・首都高速「横浜公園出口」から約3分（横浜情報文化センター駐車場・日本大通り地下駐車場をご利用ください）

### 【同時開催】企画展

**時代の空気。副田高行がつくった新聞広告100選。**

2018年3月31日（土）～7月1日（日）  
2階企画展示室 ※5月に展示替えの予定あり

ニュースパーク（日本新聞博物館）  
〒231-8311 神奈川県横浜市中区日本大通り11 横浜情報文化センター内  
TEL:045-661-2040 FAX:045-661-2029  
<http://newspark.jp/newspark/>